

ちよんじょう語

第二二三号 こんな処に

「こんな処に・・・、思わぬ方向性があって、日常的に遭遇しますが普通に、ど忘れした物が偶然見つかった驚きと嬉しさ、時には苦々しさ、腹立たしく思う事もあるでしょう。佛の遭遇も同じようなものです。自分は日々の勤行で面相が変わって拝める時が御座います。仏像に宿る魂の表現なのか、自分の魂が超常現象を引き起こすのか分かりません。お参りに見える方でも時々今日の御尊顔は笑って見えたとか泣いてみえたとかおっしゃいます。当山の油掛地藏菩薩さまは皆様方に慕したわれている みまもり地藏」様で、我々を見守り・身守りながら現世の利益を授けて頂いています。お参りの仕方はお堂内の左に説明書きが御座います。こんな処に生き仏様がboranuta活動の尾島春夫さんです。彼の理念行動は菩薩行そのもので感服致しました。

お地藏様は地獄・餓鬼・畜生等・六道能化を司つかさどって見えますが本来はお釈迦様の滅後、弥勒菩薩が出現されるまでの間、五濁悪世の時代を救済しなければならぬと言う、非常に重い任務を担になって見えます。その為に閻魔王をはじめ、色々なお姿に変じて、ご活躍されています。

地藏菩薩の功德を示された、お経に 地藏菩薩本願経じていぼんげん があります。十齋日に此の経を誦誦讚歎すれば、想像できない程の功德が得られるとあります。十齋日とは一日が定光仏・八日が薬師佛・

十四日が普賢菩薩・十五日が阿弥陀仏・十八日が觀世音菩薩・二十三日が勢至菩薩・二十四日が地藏菩薩・二十八日が大日如来・二十九日が薬王菩薩・三十日が釈迦如来という、月に十日の齋日に対象佛と御縁のある地藏菩薩様の本願経を読めば功德が頂けると言う事です。身につまされる方は試すと言っては語弊ごへいがありますが、真剣に取り組まれては如何でしょうか。どなたにも経験がおりかと思いますが、こんな処にお地藏様がみえる。今は邪魔とは言いませんが頭を下げる人はいないだろうと思うような状況にある地藏様も見えますが別に氣にも留めて見えない様子、流石でございます。お地藏様ほど数多くお祀りされる佛様はないでしょう。鈴木大拙禪師

は 私たちがどこに行っても、限らない慈悲と、すぐれた智慧をそなえた菩薩がおいでになることは、幸福なことである。どちらにむいても、わたしたちは、まちがいない導きを受けるのである」と、当の safety guide です。今は五濁悪世の世と言われます。前にも御話ししましたが、

劫濁 病・飢え・戦・転変地変 見濁 大間が間違った考え方をするようになる 命濁 命が短くなる 煩惱濁 煩惱に惑わされ悪行がおこなわれるようになる 衆生濁 質の低下が人間の苦を増やすの五つです。乗り切るために菩薩の智慧を借り、正しき行いが出来る様に祈念するのです。地藏盆といって旧暦七月二十四日に子供達が主役の地藏祭りも各地で行なわれてきました。子供好きのお地藏様ならではの行事です。良い子らのなすがままなり 地藏盆みまが 誰かの句です。大切に受け継いでいってほしいものです。今月は秋の彼岸法要が勤まります。見間違ひ・聞き間違ひ・人を見下したり、言い間違ひ等により、知らず知らずに人を傷つけてしまう事もございます。お彼岸の施餓鬼會に皆で回向供養し、現存共に平穩に暮らしましょう。